

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 株式会社 SANKYO

上場取引所 東

コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤井 明彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 筒井 公久

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-5778-7777(代)

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	142,330	25.8	39,016	56.3	41,086	48.5	24,711	43.3
21年3月期第2四半期	113,120	—	24,966	—	27,661	—	17,246	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	256.69	—
21年3月期第2四半期	178.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	462,612	403,722	87.3	4,193.54
21年3月期	494,866	386,187	78.0	4,011.37

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 403,722百万円 21年3月期 386,187百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
22年3月期	—	75.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	43.7	67,000	64.9	70,000	55.9	42,000	50.6	436.26

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 97,597,500株 21年3月期 97,597,500株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,325,146株 21年3月期 1,324,326株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 96,272,903株 21年3月期第2四半期 96,740,955株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）におけるわが国経済は、在庫調整の進展や、政策効果による一部個人消費の回復などから最悪期を脱し、持ち直しの動きも見られますが、雇用・所得環境は引き続き厳しい状況が続いております。

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、パチンコパーラーの新たな営業形態として登場した低貸玉営業の人氣などにより、長期減少傾向にあったパチンコファン人口に下げ止まりの動きも見え始めました。一方、遊技機メーカーからは、パーラーの多様な営業形態やパチンコファンのニーズに対応すべく、大当りに至る過程などプログラミング設計の工夫、著名コンテンツとのタイアップによるストーリー性の追求など、エンターテインメント性を高めた商品の投入が相次いでおります。また、パチスロ機の設置台数が依然として減少傾向にあり、需要が低迷している一方で、比較的需要が堅調なパチンコ機で有力タイトルの投入が集中しており、メーカー間の開発・販売競争は熾烈を極めております。

当社グループにおきましては、平成19年以降「著名コンテンツとのタイアップ」、「積極的なプロモーション展開」、「ゲーム性、液晶演出等の作り込み強化」に戦略的に取り組んでまいりましたが、更なる商品開発力の強化を図るため、平成21年6月、複数箇所に分散していた研究開発部門を新研究開発棟（東京都渋谷区）に集約いたしました。開発環境の充実により、ファンの視点に立った商品開発や、キャラクター・コンテンツとスペックの両方を重視した商品開発を一段と強化しており、この12月に発売予定のパチンコ機「フィーバー超時空要塞マクロス」では、『超体感パチンコ』と銘打ち、液晶画面上の視覚演出はもとより、『V-コントローラー』の操縦による参加型演出、更には「風」や「立体音響」による今までにない臨場感を実現しており、パチンコパーラー・ファンはもとより、アニメ業界や原作アニメファンからも大きな関心が寄せられております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、パチンコ機関連事業においてSANKYOブランド、B i s t yブランドともに市場の注目度が高い大型商品を投入し、販売が好調に推移したことから、連結売上高1,423億円（前年同四半期比25.8%増）、連結営業利益390億円（同56.3%増）、連結経常利益410億円（同48.5%増）、連結四半期純利益247億円（同43.3%増）となりました。

なお、事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

（パチンコ機関連事業）

パチンコ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで4シリーズ、B i s t yブランドで1シリーズの販売を行いました。B i s t yブランドの「新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」（平成21年4月）が、シリーズ過去最高の237千台の販売を記録した他、SANKYOブランドにおきましては、人気アーティストの倅田來未さんとのタイアップ第2弾「KODA KUMI FEVER LIVE IN HALL II」（平成21年7月）が、前作同様の高い評価をいただき、119千台を販売しました。また、人気アニメとのタイアップ「フィーバー機動戦艦ナデシコ」（平成21年8月）につきましては、アニメファンが集う東京・秋葉原地区での先行導入による話題作りや、スペック面での工夫をアピールし、スマッシュヒットとなりました。

この結果、売上高1,270億円（前年同四半期比68.4%増）、営業利益419億円（同101.4%増）、販売台数419千台となりました。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業は、販売マーケットが低水準で推移しており、一握りのタイトルを除いては市場の関心が低く、大半の商品が小ロットでの販売を余儀なくされております。このような市場環境を鑑み、販売スケジュールの見直しを行い、パチンコ機の販売に経営資源を集中したことから、SANKYOブランド、B i s t yブランドともに1シリーズの投入にとどまりました。この結果、売上高32億円（前年同四半期比88.7%減）、営業損失12億円となりました。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高113億円（前年同四半期比36.6%増）、営業利益3億円（同87.6%増）となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、売上高6億円（前年同四半期比15.9%減）、営業利益2億円（同10.5%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,626億円であり、前連結会計年度末と比べ322億円減少しました。これは主に商品及び製品が209億円減少したことによるものであります。

負債は588億円であり、前連結会計年度末と比べ497億円減少しております。これは主に支払手形及び買掛金が392億円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ175億円増加しました。これは四半期純利益を247億円計上した一方、主に配当金の支払い72億円によるものであります。この結果、純資産は4,037億円となり、自己資本比率は9.3ポイント増加し、87.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月13日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性が乏しいため記載を省略しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計処理基準に関する事項の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事（工期がごく短期間のもの等を除く）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間においては、工事進行基準に該当する工事契約はなく、すべての工事について工事完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	169,923	162,510
受取手形及び売掛金	48,564	40,027
有価証券	88,004	89,999
商品及び製品	1,374	22,319
仕掛品	269	145
原材料及び貯蔵品	2,331	3,694
その他	16,275	43,392
貸倒引当金	△358	△425
流動資産合計	326,384	361,665
固定資産		
有形固定資産	51,489	49,892
無形固定資産	291	249
投資その他の資産		
投資有価証券	78,934	79,157
その他	6,306	4,740
貸倒引当金	△415	△459
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	84,445	83,059
固定資産合計	136,227	133,201
資産合計	462,612	494,866
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,797	72,077
未払法人税等	11,172	13,179
賞与引当金	1,002	752
その他	8,523	17,516
流動負債合計	53,497	103,525
固定負債		
役員退職慰労引当金	616	584
退職給付引当金	2,843	2,683
その他	1,933	1,886
固定負債合計	5,392	5,154
負債合計	58,889	108,679

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,881	23,882
利益剰余金	373,277	355,800
自己株式	△8,943	△8,940
株主資本合計	403,055	385,582
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	666	604
評価・換算差額等合計	666	604
純資産合計	403,722	386,187
負債純資産合計	462,612	494,866

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	113,120	142,330
売上原価	61,590	73,691
売上総利益	51,529	68,639
販売費及び一般管理費	26,563	29,622
営業利益	24,966	39,016
営業外収益		
受取利息	1,094	883
受取配当金	164	48
持分法による投資利益	1,143	902
その他	337	252
営業外収益合計	2,739	2,087
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	42	17
営業外費用合計	44	17
経常利益	27,661	41,086
特別利益		
貸倒引当金戻入額	309	110
その他	23	—
特別利益合計	332	110
特別損失		
固定資産廃棄損	116	357
その他	2	—
特別損失合計	118	357
税金等調整前四半期純利益	27,875	40,839
法人税、住民税及び事業税	9,793	11,205
法人税等調整額	835	4,922
法人税等合計	10,629	16,127
四半期純利益	17,246	24,711

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	27,875	40,839
減価償却費	1,861	2,170
引当金の増減額 (△は減少)	△627	330
受取利息及び受取配当金	△1,258	△932
支払利息	1	0
持分法による投資損益 (△は益)	△1,143	△902
売上債権の増減額 (△は増加)	22,308	△8,536
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,525	22,190
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,291	△39,279
その他	△1,094	13,823
小計	16,107	29,704
利息及び配当金の受取額	1,307	1,195
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△20,873	△12,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,460	18,039
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,514
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,314	△4,558
有価証券の償還による収入	1,000	—
投資有価証券の取得による支出	△16,010	△19,028
投資有価証券の償還による収入	16,000	16,000
貸付けによる支出	△237	△1,806
貸付金の回収による収入	10	15
その他	△4	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△556	△11,861
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△51	△37
自己株式の売却による収入	6	2
自己株式の取得による支出	△7,348	△6
配当金の支払額	△9,746	△7,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,140	△7,277
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△21,157	△1,099
現金及び現金同等物の期首残高	226,329	218,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	205,171	217,409

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	パチンコ機 関連事業 (百万円)	パチスロ機 関連事業 (百万円)	補給機器 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	75,487	28,528	8,312	792	113,120	—	113,120
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	—	1	7	(7)	—
計	75,492	28,528	8,312	794	113,127	(7)	113,120
営業利益	20,809	7,973	164	259	29,206	(4,240)	24,966

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	パチンコ機 関連事業 (百万円)	パチスロ機 関連事業 (百万円)	補給機器 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	127,079	3,231	11,358	659	142,330	—	142,330
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	—	—	7	22	(22)	—
計	127,094	3,231	11,358	667	142,352	(22)	142,330
営業利益又は営業損失(△)	41,907	△1,257	308	232	41,190	(2,173)	39,016

(注) 1 事業区分の方法は販売品目系統によって区分しております。

2 各事業区分の主要な製品

- (1) パチンコ機関連事業 ……パチンコ機、パチンコ機ゲーヂ盤、関連部品及びパチンコ機関連ロイヤリティ収入
- (2) パチスロ機関連事業 ……パチスロ機、パロット機、関連部品及びパチスロ機関連ロイヤリティ収入
- (3) 補給機器関連事業 ……パチンコ・パチスロ補給装置、カードシステム機器、ホール設備周辺機器及び補給機器関連ロイヤリティ収入
- (4) その他の事業 ……不動産賃貸収入、一般成形部品等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

在外支店及び在外連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。